

平成28年度の事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

認定特定非営利活動法人ロージーベル

1 事業実施の成果

- (1) 少年の家事業について、家庭裁判所や保護観察所からの委託等により3名の少年を受け入れ、自立更生に向けた援助を行った。
- (2) 相談事業について、いじめや虐待・不登校・引きこもり・学校や職場での人間関係・自殺等、様々な悩みを抱えた人々の相談に対応。電話相談に関わるボランティア等を対象とした研修会を実施し、相談活動の充実・強化を図った。
- (3) 少年院DJ製作事業について、東北・北海道の2少年院へDJ番組を提供した。
- (4) 啓蒙・情報提供事業についてHPに講演会・講座情報等を随時更新、また、会報では法人の活動状況や青少年育成等に係る情報提供等の充実を図った。
- (5) 講演会等事業について、非行少年の現状や更生支援に関する講演会を開催した。昨年に引き続き、ボランティア養成講座を開催したことにより、新たな支援者を得た。
- (6) 付帯事業については、昨年度に引き続き、児童養護施設へのタオル贈呈等を実施。
視察事業と関係団体との連絡協議会事業においては、少年の家事業の更なる充実のための参考情報を大いに得ることができ、今後の情報共有や連携体制の構築に繋がった。
こころの声を届けようvol.3については、10名のアーティストと200名のコーラス隊の協力により、オリジナルCDを作成し、クリスマスに全国の少年院・少年刑務所に届けることができた。

2 事業の実施に関する事項(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
①少年に住居を提供し、必要な援助と生活指導を行う事業 (少年の家事業)	家庭裁判所や保護観察所からの委託等を受けた少年を受け入れ、自立更生に向けた援助を実施。	4/1～3/31	宮城県	15名	少年3名	4,483
②少年に教育や就業の機会を提供する事業 (就業・就学支援事業)	少年の家事業で受け入れた少年に、就労先の紹介・定着就労支援、就学支援等を実施。	4/1～3/31	宮城県	1名	少年3名	0
③少年や家族等からの相談を受ける事業 (相談事業)	子育て・自殺・非行問題・いじめ等さまざまな問題に関する電話相談を実施。	4/1～3/31	宮城県	2名	電話相談件数: 全国から述べ約 3,000件	568
④少年とその家族の架け橋となる事業 (架け橋事業)	少年の家事業で受け入れた少年等の家族間調整等を実施。	4/1～3/31	宮城県	1名	少年3名	0
⑤少年院で放送する番組を制作するなどの支援事業 (少年院DJ制作事業)	東北・北海道管内の2少年院に対し、毎月、オリジナルDJ番組を制作・提供。	4/1～3/31	宮城県	5名	少年院の少年 延べ約300名	595
⑥少年の支援のための啓蒙活動と情報提供事業 (啓蒙・情報提供事業)	HPや会報等を通して、法人の活動や少年の更生等に関する理解と支援の呼びかけ。 HP:常時、会報:年2回	4/1～3/31	宮城県	10名	会員・サポーター・ 講座受講者・関係 団体:約300名、 HP等をご覧の方	426
⑦少年の支援のための講演会等の事業 (講演会等事業)	・子どもの心のケア等に関する講演会開催:1回 ・ボランティア養成講座開催:1日間	5/21 9/10	宮城県	15名	講演会参加者: 約60名 養成講座:約40 名	360
⑧その他、この法人の目的を達成するために必要な①から⑦の事業に付帯する事業 (付帯事業)	・関係団体連絡会開催等:年3回 ・養護施設等へのタオル等寄贈 ・こころの声を届けようVol3	7/9,10/15、 2/18 12/9 8/5	宮城県	15名	連絡会:約20団 体 寄贈先:2件 こころ:約200名	775